

第2回子ども・子育て会議報告

平成26年2月20日（木）開催分から

○保育部会より

子育て支援センター、児童館、保育園、幼稚園、子育て相談について議論をいただきました。

（子育て支援センター、児童館について）

- ・ニーズ調査から児童館と子育て支援センター利用については小さい年齢も児童館利用をしたい結果であった。各施設、同年齢を対象とした同様な事業が多分にあるので事業を進める上で互いに情報提供をしていかなければならない。支援センターは親子関係などの構築を重点に、児童館は遊びを提供しニーズに応じていくことが大切。
- ・児童館は朝から夕方迄開館、支援センター利用では14時閉所から17時閉所迄とばらつきがあるので利用しにくさがある。開所時間、開館時間、対象年齢、児童館と子育て支援センターのすみわけなど互いに手を取り合い、事業を整理していかなければならない。
- ・閉園した公立保育園の跡地はどうなるのか。
支援センター等、広いスペースを確保できる施設要望があり、これから意見を聞いて行きたい。

（保育園、幼稚園）

- ・野々市市には幼稚園が少ない。2園あるが私立であり、利用料が月3万円程かかる。公立幼稚園は存在できないのか？保育園は職の見込みがないと入園できない。幼稚園は夏季休暇もあり就労の方は困っている。などの意見があった。幼保連携型認定こども園へ移行など。
今後どう読むのか・充足できるのか見極めていかなければならない。
- ・保育の質も高めていかなければならない。

（保健センターについて）

- ・子育て相談として0～2歳は食事、栄養が多く、栄養士が支援をしていき、また病気・発育面では保健師が保護者支援をしていくが、発達相談など心理士等専門の先生が必要である。

（医療費の申請について）

- ・野々市市はレシートを集め、書類に記入し、手続きをしなければ払われないので力量のない方、申請が面倒な方等、手続きをしない方もいる。自動償還払いの要望など。

以上 議論とした。